第 12 回（3 月度）菩提寺まちづくり協議会合同役員会議

日時： 2026 年 3 月 11 日 19 時 30 分～

場所： 菩提寺まちづくりセンター　中会議室２

出席者：

---

1. 開会

司会進行：森本会長

2. 会長報告

会長報告ということで、審議案件の 2 番目です。川上副会長から 2 月 28 日付で副会長の退任申し出があり、合同役員会で承認いただいています。後任については、総会が近いため役員選考会議で決定していただく形になると思います。内容は後日伝えます。以上です。ご承認される方は挙手をお願いします。

（多数のため承認）

3. 指定管理の不正確な会計処理について

司会者：

3 番目、指定管理の不正確な会計処理について、本日は川上センター長に来ていただいておりますので、説明をお願いします。

川上センター長：

こんばんは。資料に記載の通りですが、この度の私の不手際により、皆様に大変ご心配をおかけし、誠に申し訳ございませんでした。前回の臨時合同役員会議の際、森本会長から様々な報告があったかと思いますが、本来であれば私もその場に立ち会って皆様に謝罪すべきところ、私用により参加が叶いませんでした。このことにつきましても、重ねてお詫び申し上げます。大変失礼いたしました。

問題となった会計処理については、森本会長からご説明があったと伺っております。問題というのは、毎年まちづくりセンター側の会計を締めた後、余

剰金をすべてまちづくり協議会に移さなければならないところ、それを忘れてしまったというものです。忘れていた昨年度の余剰金については、2 月 12 日にすべてまちづくり協議会の方に移動させていただきました。

さて、ある区の回覧板で、今回の件について報告があったと伺いました。その内容が、長年にわたって不正会計を行っていたかのような印象を与えるものでしたので、この場を借りて訂正させていただきたいと思います。

まず、森本会長からは「不正はなかった」と説明いただいたと伺っていますが、回覧では「不正会計処理について」というタイトルが付けられていました。不正会計とは、人を騙す意図をもって情報を改ざんし金銭を私的に使うような行為を指しますが、今回は意図的なものではなく、あくまでミスによるものです。そのため、「不適切な会計」もしくは「不正確な会計」という言葉が適切かと思われます。

次に、「数年にわたり余剰金がまち協会計に繰り越されていなかった」とありましたが、繰り越しができなかったのは一昨年度の 1 年分です。また、「余剰金の発生は少なくとも 3 年前からあった」と、余剰金があること自体が不正であるかのように書かれていましたが、余剰金がなければ赤字会計ということになり、毎年発生するのは正常なことです。その余剰金の処理でミスがあったというのが今回の問題です。

さらに、「備品台帳などの証拠もなかった」と書かれていますが、備品台帳は存在します。2 年に 1 回程度の頻度で棚卸しを行い、その結果を台帳に記載しています。ただし、この備品台帳の有無は、今回の不適切な会計処理とは一切関係ありません。

こうした内容が合わさり、あたかも長年にわたり不正行為を続けていたかのような印象を与える記述となっていました。これはまちづくり協議会にとっても、当事者である私にとっても問題であるため、訂正をお願いいたします。この訂正については、既に該当の区に対して会長から依頼をされていると伺っておりますので、訂正の回覧をよろしくお願いいたします。

このような回覧が出回ったのも、元はと言えば私がミスを犯したことが原因です。その点については、改めてお詫び申し上げます。大変失礼いたしました。以上です。

森本会長：

ありがとうございます。この件に関して、何かご質問はありますか。

岡田：

うちの区のことだと思いますが、正直に言うと「不正会計」というのは誤字です。ウェブ上に上げた議事録では「不正確な会計」となっていますが、修正前のものが流れてしまいました。ウェブ上のものは修正済みです。会長からは「3 年前から」と聞いていたので、そのように記載しました。川上センター長の認識と会長の認識、どちらが正しいのか教えていただかないと分か

りません。市の調査でも、3 年分の余剰金があったと聞いています。一部はまち協に入っていたかもしれませんが、全額は入っていなかったですよね。それを捉えれば 3 年ではないですか。

森本会長:

今年度、令和 5 年度分は私たちが指摘した後で繰り越されましたが、それまで、11 月まで何のアクションもありませんでした。本来であれば、6 月には未収金・未払金の処理が終わった段階で、余剰金はまち協に入るルールです。

私が指摘したのも 11 月ですよね。もし指摘がなければ、いつ繰り越していたのでしょうか。

川上氏:

忘れていました。しかし、それを忘れていたと気づいたのは、指摘されてからではなく、私自身で気づいて市に相談しました。

森本会長:

ヒアリングがあった時ですよね。でもそれは私が指摘した後です。事実関係が違います。

パソコンの買い替えの話で 12 万円かかると聞いた時から質問させてもらっていましたが、その後のヒアリングで言っていましたよね。

森本会長:

私はその前から市に報告していました。「こんなことがありますよ」と。

パソコンの話より前ですか。もしそうであれば、川上さんの主張が正しいと思いますが。

川上氏:

正直、日付は定かではありませんが、私の方から市の課長に「一年前に移動すべきものを忘れてしまった。どう処理すればよいか」と相談したのは事実です。

森本氏:

それはいつですか。

川上氏:

日付は覚えていませんが、ヒアリングがあった時です。

森本会長:

12 月ですか。12 月に課長は来ていなかったと思いますが。

岡田:

とりあえず、修正してほしいとのことですが、その内容が定かではありません。「不正会計」については、議事録は修正したものが載っていますので、確認してください。

浅井長氏:

それでは済まないでしょう。皆に迷惑がかかることだから、「誤字でした」だけでは済まない。きちっとするべきです。

岡田:

回覧の訂正は通常行いません。なぜ今回だけ回す必要があるのか分かりません。

浅井長氏:

名誉に関わることです。個人の川上さんの名前も出ています。

岡田:

議事録には訂正したものが載っていますので、確認していただければと思います。

浅井氏:

よその区でも同じようなことがあっても、ウェブ上の変更だけで済むのですか。

森本会長が出してくれた資料には「不正」とは書かれていませんでした。それを見て書いていれば、こんなことにはならなかったと思います。

「不正会計」という言葉が間違っていました、ということをきちんと周知していただきたい。

岡田:

そうすると話が大きくなってしまうのでは。

森本会長:

我々が発信したやり方も悪かったのかもしれません。訂正の回覧をお願いできますか。

岡田:

訂正箇所はどこですか。市の調査でも 3 年というのは事実です。

森本会長:

では、川上センター長がおっしゃるように、「不正会計」という部分を「不正確な会計」に訂正するということで回覧を出しましょう。それでよろしいですか。

岡田：

はい。言い訳をさせてもらうと、本当に「不正確な会計に直して」と指示して出したのですが、前のものが回ってしまいました。申し訳ありませんでした。

森本氏：

では、そのようにお願いします。

川上氏：

ありがとうございました。すみませんでした。

4. 各委員会の活動報告と今後の体制について

4-1. 福祉安全委員会

A 浅井長氏：

福祉安全委員会からの報告事項ですが、食堂に関して、第 93 回は 2 月 21 日に行い、参加者は 65 名でした。参加費は 11,600 円です。前回、予算の補正をいただきましたが、今回は 27,000 円で済みました。70 万円には到達せず、残り 1 回で 70 万円に届くかという程度で収まる見込みです。

ささえあい推進事業につきましては、高齢者の方々のお話を伺うボランティアにじいろの輪や、イオンタウンのバスツアー、ワークショップを開催しました。

1. 子ども食堂について
    - 【成果】

      2017 年 10 月からスタートし、単なる食事提供だけでなく、子どもや保護者に寄与してきたと自負しています。放課後等デイサービスの利用者が地域の活動に参加できる唯一の場となり、また被災地ボランティア経験者や健康推進員、食育に関心のある方々の地域貢献の場にもなっていました。

    - 【課題】

      事業最大の予算規模（今年度 70 万円）となっており、市の助成金（年間最大 15 万 6 千円）はあるものの、今後、町の負担増が見込まれます。費用 70 万円に対し、寄付約 25 万円、市助成金 4 万 6 千円を差し引くと、残りの約 40 万円が町の負担となります。また、食中毒事案の発生や、運営の中心だった川上さんの退任により、今後の継続が困難な状況です。

    - 【結論】

運営面、財政面から継続は困難と判断し、2026 年 3 月 21 日をもって終了し、4 月以降は中止とさせていただきます。

- **【スタッフの今後について】**

スタッフ 18 名へのアンケート結果（回答 17 名）、まち協からの公募または要請があれば協力するとの回答を得ています。他の地域の子ども食堂（三上台、サイドタウン）や、北山台自治会館会館「ひまわり」での活動に参加することも考えられます。

2. **防災関係について**

- **【成果】**

定期的な無線更新により、各区対策本部との連絡体制は構築されたと考えています。

- **【課題】**

各区連絡所とまち協対策本部との情報共有が不足していました。また、各区の防災計画へ我々が踏み込むことができず、町として合意した避難所開設マニュアルもありません。

- **【これまでの活動実績】**

各区の防災計画・備蓄品リストの公開、防災課への質問会の設定、消防署職員による機材取り扱い講習、自主避難所マニュアルの公開などを行いました。

- **【今後について】**

福祉と安全を一つの委員会で扱うのは無理があるため、防災を主軸とした委員会またはプロジェクト形式での活動を検討してはどうかと考えています。

3. **地域支え合い推進活動について**

- **【成果】**

各区での見守り活動、移動支援の開始、買い物支援、「にじいろの輪」などが成果です。移動支援は、担い手だった川上さんと浅井の退任により、今年度で一旦収束します。

- **【課題】**

市からの委託事業ですが、活動への理解が得られず、協議会が機能不全状態に陥っています。

- **【今後について】**

市、社協、区長会と連携し、今後の協力を検討いただきたいと思います。

4. 委員会体制について

私、運営委員長は任期満了をもって退任します。防災関連の取り組みの停滞や委員の育成ができなかったことなどが理由です。運営委員も全員退任するため、今後は公募にて募集いただきたいと思います。

質疑応答

増田氏：

子ども食堂のスタッフで、他の地域での参画を希望している 2 名というのは、希望ということですね。三上台でやっているところに参加してもいいというご意向でしょうか。

浅井長氏：

はい、希望です。三上台とは特定していません。他の地域でも運営として参加してよろしいか、という意向です。

増田氏：

なるほど。まち協は毎月料理が変わりますが、うちはカレーと唐揚げだけです。それでもサポートしていただけるのでしょうか。

浅井長氏：

その方が三上台の方かも含め、個人情報になりますので、後ほど個人的にご説明させていただきます。

増田氏：

こちらもボランティアサポーターが平均 8 名ほどいますので、そこの同意も必要になります。また教えてください。

浅井長氏：

はい。アンケートの結果であり、「どこかに行く」と決まっているわけではなく、「（要請があれば）やってもいい」という意思表示です。

本来は地域に根差した形でやるのが良いのでしょうが、うちの場合は講座と一緒になるなど違う面があります。

増田氏：

一点だけ、私が始めた食堂は遊びや学びの場がメインで、食事提供は後からです。もし面接していただけるのであれば、その点を含めてご検討いただき、教えてください。

4-2. 歴史の小道と歴史講座

田中氏：

先月2月21日に歴史の小道の整備作業を実施し、傷んだ橋の補修を行いました。材料は事前に許可を得て伐採した枯れ木を使用しています。

3月8日には第21回歴史講座を高井先生を講師に開催し、45名が参加され好評でした。次回も湖南市在住の方に講演をお願いする予定です。

今月3月21日にも整備作業を行いますので、ご協力をお願いします。

最後に、各自治会からの応援委員の方々に、次年度も継続参加をお願いしており、徐々に委員を増やしていきたいと考えています。

4-3. 竹林整備と県立大学との連携

浅井基氏:

2月28日に予定していた竹林整備は、竹が濡れていたため中止し、周辺の処理と竹の回収を行いました。次回は3月20日、21日に竹の粉砕作業とタケノコ掘りに向けた整備を行います。

滋賀県立大学との竹施設制作については、3月24日にプロジェクトメンバーで作業と今後の打ち合わせを行います。

各区のタケノコ掘りの日程は、あみだくじで決定し、区長様にはLINEで注意事項を案内済みです。期間中、収穫できたタケノコはまちづくりセンターで販売予定です。

私事で恐縮ですが、19年間携わった協議会を本年度をもって卒業し、今後はサポーターとしてお手伝いします。

次年度計画となりますが、タケノコ掘りについては、私がタケノコ堀り終了まで責任を持って行い、後任に引き継ぎます。当面の委員長は森本会長にお願いしました。また、協議会で使用していた私の軽トラックは、4月1日をもって引き上げさせていただきます。長い間お世話になりました。

新田氏：

サイドタウンは19日です、よろしくお願いします。

4-4. 子ども育成委員会

大黒氏:

まず、報告事項です。「すくすくサロンチルり」の2月の参加者は子ども10人、大人8人の計8組でした。次回は3月27日開催予定です。

次に、子ども育成委員会についてですが、先日の代表者会議で委員長の辞任を申し出ました。自身の生活の中で負担が限界に達し、継続が困難になりました。後任も見つからず、他の運営委員も継続が難しいため、委員会として機能しない状態です。

先日、委員会で再度確認し、以下の通り決定しました。

- **活動終了：** 2026年3月31日をもって、現メンバーでの活動を終了します。
- **委員長退任：** 通常総会での活動報告をもって、委員長を退任します。
- **サポーター名簿：** 森本会長に保管を依頼しましたが「預かれない」とのことで各区の提出は不要とします。
- **挨拶運動：** 4月9日の小学校入学式の挨拶運動は、委員会有志として実施します。
- **学民会議：** 委員会が担ってきた学民会議の役割について、まちづくり協議会に対応を依頼しましたが「現体制では対応しかねる」との回答でした。市民会議へ活動ができない旨を報告に行く予定です。

質疑応答

神屋：

委員長が退任されると、委員会は自動的になくなるのでしょうか。継続への努力はあったのですか。まちづくり協議会の中の組織が一つなくなることについて、これで良いのか疑問です。

森本氏：

活動は休止という形になるかと思います。来年度の事業見込みがないのに予算を付けるのはおかしいので、予算はゼロになります。

神屋：

「すくすくサロン　ちるり」もなくなってしまうのでしょうか。

大黒氏：

私自身はボランティアとして「ちるり」に関わり続けたいですが、委員会の運営は負担が大きく困難です。委員の募集はしてきましたが、継続が難しい状況でした。委員会が存続するならサポーターとして協力したかったのですが、休止となればそれもできなくなります。

神屋：

現在の委員会の構成や活動状況が分かりません。委員長はずっと大黒さんだけだったのでしょうか。

大黒氏：

派遣の方 2 名を含め 8 名です。どなたかが委員長を引き受けてくだされば、私はサポーターとして関われます。しかし、他の運営委員は退任の意向です。委員長は会議への出席が多く、負担が大きくなっていました。

神屋：

「ちるり」だけでも続けていくことはできないのでしょうか。

新田：

委員会がなくなると、学区民会議はどうなるのでしょうか。

大黒氏：

もともと学民会議とまちづくり協議会を一体化する話があったと聞いていますが、詳細は分かりません。今後のことは市民会議の事務局に確認しないと分かりません。

浅井長：

市からの委託事業などがある場合、責任の所在が心配です。誰かが市民会議に確認する必要があるのではないでしょうか。

村上：

話を聞いていると、子ども育成委員会の活動は続けたいが、学区民会議など他の負担が大きいということですね。

気力も尽き果てたという感じです。いざという時に助けに行けない組織でした。活動を再開するには、ものすごいエネルギーが必要です。

森本：

やる気がなければリセットすればいいと思います。ボランティアですから。

神屋：

そうですね。ボランティアでやっているわけですから。

森本：

その点については、また「ちるり」に言っておきましょう。せっかくいい活動で人が集まっているので、二社谷さんと輪郭を残す方向で相談しましょうか。

大黒氏：

「ちるり」についてですが、お母さんたちが楽しみにしてくれています。もし、まち協として子供関係のことができないのであれば、「ちるり」を主任児童委員の活動として、サークル的な形で引き継がせていただけないでしょ

うか。今あるおもちゃや部屋を使わせていただく形で関われたらと思っています。

岡田：

その形だと予算はつかないですね。

神屋：

つきませんね。会長さんが考えてくれると言われました。お金のことは大丈夫です。

岡田：

飲食はしているのですか？

大黒氏：

お茶を飲んだり、子どもたちがお菓子を食べたりする程度です。

神屋：

私としては残してあげる方向で、補助も出してあげたいです。

森本：

それでは、その方向でよろしいでしょうか。

5. その他報告事項

5-1. さくらまつりについて

村上：

北山台区の話です。さくらまつりを 4 月 4 日の 10 時から 14 時 30 分まで実施します。もしよろしければお越しください。以上です。

森本氏：

ありがとうございます。

5-2. 会計監査報告

神屋・岡田：

会計監査報告をさせていただきます。令和 7 年度第 3 四半期（令和 7 年 4 月～令和 7 年 12 月）のまちづくり協議会会計報告に関し、出納簿並びに証拠書類などを監査した結果、その執行は適正に処理されており、正当であると認めます。令和 8 年についても、正確であると考えています。

一同：

ありがとうございます

6. 今後の予定について

森本：

各自治会は新しい方が来られますか？予定通り4月8日に総会を開けるかどうか。それまでに予算書を作成し、承認を得て役員紹介という形で進めたいです。評議員の選出もその時にお願いします。もし役員が交代する場合は、引き継ぎをお願いします。

19時半から評議員会を開き、そこで総会の予算を検討していただく予定です。それまでに資料を作成します。広報には、イベントや新規事業など、皆さんに知ってもらった方がいいことを掲載します。

7. 閉会の挨拶

神屋：

今年度最後の協議会ということで、活動の中止や卒業される方など、いろいろな動きがありました。浅井さん、大黒さん、そしてもう一人の浅井さん、長年のご尽力、本当にありがとうございました。ボランティアとして長く活動してくださったことに感謝しております。新しい方向へ良い方向へ進むことになると思いますが、これからはデジタルの時代ですが、アナログな人間関係のつながりがより大事になってくると思います。来年度も良い方向に向かうことを期待しております。以上です。

一同：

ありがとうございました。

森本氏：

それでは、これで終了させていただきます。